

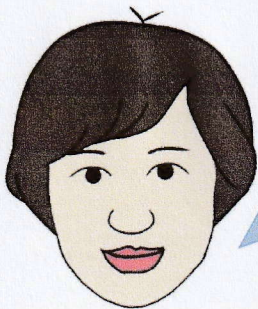
# わ や 便 り

## 〔和家たより〕 第5号

2021年9月20日発行  
尾鷲市大字向井151番地1  
特定非営利活動法人  
まぐのりあ  
電話(0597)37-4030  
FAX(0597)37-4031

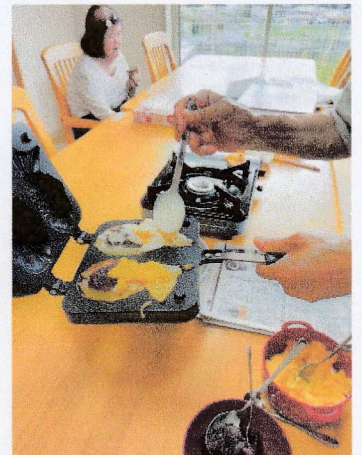
### 支援者の声 「暮らしと社会参加を支援しています。」 Part 3

「和家」開設から3年目になりました。前号までに、支援者の声を紹介してきました。今号でも、入居者の帰宅から就寝までを支援している様子を紹介します。



私の仕事は夕食の準備と見守りです。皆さんが帰宅し夕食までの時間、話をしながら様子を見ながら食事の準備をします。

「今日のおかず何？」 美味しそうな匂いがするね。嬉しそうなその様子を見て食事の占める大切さを感じました。そしてその時間は私にとってもとても大切な時間です。これからも食をとおしてよりよい支援ができればと思います。(北村由希子)



私は、和家の夕飯の用意と夜の見守りを週1回ずつしています。夕飯の用意では、それぞれの顔を思い浮かべながら盛りつけをしています。「今日の夕飯のメニューは何？」と楽しみにしてくれていて、美味しいとみなさんが完食されるのでこちらまで嬉しくなります。夜の見守りも皆さんとふれあい楽しくさせてもらっています。(内山美季)



帰宅時から就寝までには、食事や入浴、洗濯物の取り入れ、就寝準備などいろいろな業務があります。「和家」では、決められたスケジュールによる流れ作業的な支援ではなく、一人ひとりの意思や状態の把握を最も大切にしています。食事や入浴の支援をとおして、その日の出来事の把握。日中活動の疲れを癒やす散歩や夕食後の団欒のひとつとき。そこでの会話や生活の全てが入居者が発信していることです。「今日は作業所ではどんな仕事をしたの?」「お友達とはどんな話をしたの?」。意思疎通が難しく、返事がないこともありますが、日常の会話、日常生活の中にある小さな変化も見逃さない、そうした関わりを持った支援を続けることを約束します。それは、難しいことのように思いますが、「同じ目線で対等な関係を作る気持ち」があれば、決して難しいことではないと思います。支えるつもりが、生きがいを感じ、支えられていることに気付く。「和家」には共生の喜びがあります。

「和家」では、支援員(世話人、生活支援員)を募集しています。また、日中活動事業所への送迎、環境整備等のボランティアもお願いしております。詳細は伊藤(090-9910-1574)まで。



### 安心・安全・快適な住まいへ

万一の火災の時は、車椅子での避難を容易にするため、居室前から屋外への部分を舗装し避難通路にしました。併せて、洗濯物干し場としても使えるように整備しました。





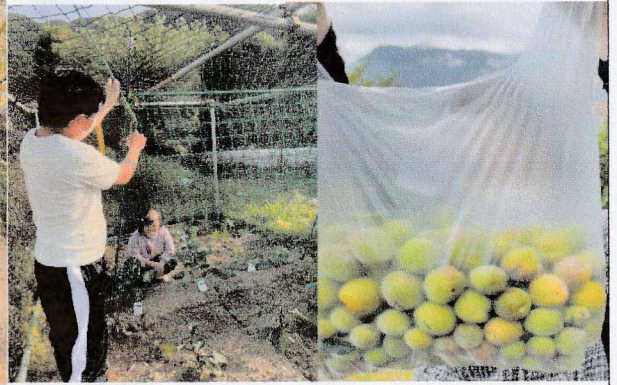
## 暮らし&社会参加

### 和家の暮らしと社会参加の様子をお知らせします。

新型コロナウイルスの勢いが収まりません。和家でも、感染予防を最重点にした生活が続いています。「社会参加」や「地域交流」は、とても大切なことですが・・・。コロナのことを考えると、外出や交流をためらうことが多くなりました。そのような状況での和家の生活をお伝えします。



休日には、支援員やボランティアの協力で農作業。和家では、キュウリ、トマト、サツマイモなど作っています。草取りは大変な仕事ですが、収穫が楽しみです。(7月)



## 受 期 日 前 投 票 付



「投票しました！」尾鷲市長選・尾鷲市議選 (6月)



散歩やホームでの暮らしが多くなりました。買い物やファミレス、地域のイベントに出掛けたいのですが・・・

## ありがとうございます



当法人の活動やグループホームの運営に多くの方々からご協力がありました。大切に活用させていただきます。

【賛助会員】2021年1月1日～2021年8月31日

もりかご岩本 様、大谷ミート 様、個人会員 90名

(合計) 295,000円(295口)

【寄付金】2021年1月1日～2021年8月31日

日本基督教団尾鷲教会 様、五味建設 様、匿名希望 4名

(合計) 76,200円

穫れたての新鮮な野菜・お米や鮮魚等、地域の皆様からも沢山いただきました。いつもありがとうございます。

## From まぐのりあ ★年2回(8月・2月)発行し

ている「わや便り」を今月号から9月、3月に変更しました。今号は少し遅れました。ご了承ください。★新型コロナウイルス感染予防の徹底のため、「和家」訪問の際は、事前に電話等により連絡をお願いします。訪問時には、検温、消毒、マスク着用などをお願いします。★「わや便り第5号」の感想をお寄せください。また、和家への質問や提案。障がい者福祉に対する意見など……お寄せください。FAX(0597-37-4031)やメール([magumagu@gaea.ocn.ne.jp](mailto:magumagu@gaea.ocn.ne.jp))にてお願いします。

## 編集後記 ◆2020 オリ・パラが多くのドラマを残しま

した。スケートボードの選手が宙で舞う姿は鳥のようです。ブラインドサッカーの選手は、コートの中では自由に動けるといいます。「光・風・景色・・・」どのように感じているのでしょうか?。「身体で感じることに差がないのでは?」「身体で感じる世界は、身体で見える世界でもある・・・」。そして、音のない世界や意思疎通が困難な人たちの世界にも豊かな世界があるのでは・・・。◆新型コロナの対策が長期化しています。一人ひとりが本気で取り組むほかないようです。最大限の注意を! 「和家」でも「我が家」でも気を緩めることができません。(Y)